

小規模事業者経営動向調査支援業務について

1. 調査目的

この調査は、愛知県愛西市における経済動向等に関する情報の分析を行い、効果的な経営支援の実施ならびに事業活動の参考とすることを目的とする。

2. 調査概要

(1) 調査時期

令和6年8月～10月

(2) 調査対象企業

愛知県愛西市内企業 100 社

(建設業：24 社、製造業：23 社、卸売業：6 社、小売業：13 社、飲食業：10 社、サービス業：18 社、その他：6 社)

(3) 各調査項目の数字及び記号の説明

本報告書内に明記している DI とは、景気動向指数と呼ばれるもので、各調査項目についての増加（良化）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた数値。

数値と天気記号の関係性は下記の通りであり、天気区分は愛知県商工会連合会の基準を踏襲している。

天気区分	快晴	晴れ	曇り	小雨	雨
天気記号					
DI数値	60.1～100	20.1～60.0	△20.0～20.0	△60.0～△20.1	△100.0～△60.1

(4) その他

小数点は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位で表示している。

令和7年1月20日作成
愛西市商工会
TEL：0567-24-6122

愛西市商工会

中小企業景況調査報告書(愛西市商工会概略版)

(令和 6 年 8 月～10 月実績)

1. 愛西市内における産業全体の景況

景況感はやや低迷し、見通しは明るくないものの

前回調査時より各 DI 値が増加し改善傾向

今月の産業全体の景況(対前月比)は、「売上 DI」が△2.1、「採算 DI」が△4.2、「資金繰り DI」が△7.1 と 10 ポイント未満ではあるがマイナスであり、全ての項目において悪化の状況となっている。

対前年比においても「売上 DI」・「採算 DI」・「資金繰り DI」が対前月比と同様のスコアとなり、やや厳しい経営環境であると想定される。

今月の産業全体の景況(対前月比)を業種別でみると、悪化となっている DI が多いものの、建設業の「採算」、製造業の「売上」「採算」、その他業種の 3 指標は良化に転じている。

今後の見通しに関する DI は△12.4 と、来年以降も厳しい経営を見通している。

一方で、前回調査時の各 DI と比較した場合、大半の指標が 10 ポイント以上増加し、悪化の幅は小さくなっている。また、産業別では、特に「製造業」において各指標でポイントが大きく増加しており、景況感に回復の兆しが見られる。

■産業全体の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月		△2.1		△4.2		△7.1
	前年		△3.3		△1.1		△7.0

■今後の見通し

	天気	DI
今後の見通し		△12.4

* DI=よくなると回答した企業の割合-悪くなると回答した企業の割合

■令和 5 年 8 月～10 月の調査結果(前回調査)との推移状況

- ・ 「今月の景況」(前年比)の各 DI を前回調査と比較すると、「売上 DI」(前回△20.2→今回△3.3)・「採算 DI」(前回△17.8→今回△1.1)・「資金繰り DI」(前回△17.2→今回△7.0)の各 DI で前回調査を 10 ポイント以上上回っている。
- ・ 今後の見通しに関する DI は、前回調査の△27.8 に対し△12.4 で 15.4 ポイント増加しており、今後の見通しはマイナスではあるが改善の傾向にある。

2. 業種別景況感

(1) 建設業

前月比較の「採算」・前年比較の「売上」は良化。 見通しもプラスに転じ、前回調査時から DI 数値増加で回復の兆し 今月の建設業の景況は、対前月比で「売上 DI」が 0.0、「採算 DI」が 8.3、「資金繰り DI」が△8.3。「採算 DI」は良化しており、また、マイナスとなっている「資金繰り DI」も調査対象業種のなかでは比較的悪化の幅は小さい。 対前年比では「採算 DI」「資金繰り DI」が 0.0 となるものの、「売上 DI」が 4.3 でプラスとなっている。 今後の見通しに関する DI は 8.3 と、多少であるが良化していることから、今後の景況感は改善が想定される。	
--	--

■建設業の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月	 →	0.0	 ↗	8.3	 ↘	△8.3
	前年	 ↗	4.3	 →	0.0	 →	0.0

■今後の見通し

	天気	DI
今後の見通し	 ↗	8.3

* DI=よくなると回答した企業の割合-悪くなると回答した企業の割合

■建設業のコメント

- ・ 記載事項なし

■令和 5 年 8 月～10 月の調査結果（前回調査）との推移状況

- ・ 「今月の景況」（前年比）の各 DI を前回調査と比較すると、「売上 DI」（前回 16.7→今回 4.3）は 12.4 ポイント減となっているものの、「採算 DI」（前回△4.3→今回 0.0）は 4.3 ポイント増、「資金繰り DI」（前回△12.5→今回 0.0）は 12.5 ポイント増で改善の傾向が見られる。
- ・ 今後の見通しに関する DI を前回調査と比較すると、前回調査が△13.0 であったのに対し 8.3 で 21.3 ポイント増となり、今後の景況感は改善が想定される。

(2) 製造業

見通しは回復傾向。前月比較の「売上」・「採算」はプラスに転じている。

また、前回調査から各 DI が改善し、特に「売上」で顕著なポイント増

今月の製造業の景況は、対前月比で「売上 DI」が 18.2、「採算 DI」が 10.0、「資金繰り DI」が 0.0。「売上 DI」「採算 DI」は 10 ポイント以上のプラスとなっている。対前年比では「売上 DI」が 0.0 で横ばい、「採算 DI」が△17.6、「資金繰り DI」が△5.9 でマイナスとなっている。

今後の見通しに関する DI は 4.5 と、多少であるが良化していることから、今後の景況感は改善が想定される。

■製造業の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月	 	18.2	 	10.0	 	0.0
	前年	 	0.0	 	△17.6	 	△5.9

■製造業の今後の見通し

	天気	DI
今後の見通し	 	4.5

* DI=よくなると回答した企業の割合-悪くなると回答した企業の割合

■製造業のコメント

- ・ 経営上の問題：価格転嫁が十分でない
- ・ 商工会への要望：今と変わらず、展示会に出展支援をしてほしい。

■令和 5 年 8 月～10 月の調査結果（前回調査）との推移状況

- ・ 「今月の景況」（前年比）の各 DI を前回調査と比較すると、「売上 DI」（前回△61.5→今回△0.0）は 61.5 ポイント増、「採算 DI」（前回△33.3→今回△17.6）は 15.7 ポイント増、「資金繰り DI」（前回△25.0→今回△5.9）は 19.1 ポイント増。改善の傾向が見られ、特に「売上 DI」が大きく伸びている。
- ・ 今後の見通しに関する DI を前回調査と比較すると、前回調査が△26.9 であったのに対し 4.5 で 31.4 ポイント増となり、今後の景況感は水面下ながらも改善が想定される。

(3) 卸売業

今後も低調を見通す。

対前月比でみる「売上」「採算」はマイナスであるが、前年比較では良化

今月の卸売業の景況は、対前月比で「資金繰り DI」が 0.0 で横ばい、「売上 DI」「採算 DI」が△50.0 でマイナスとなっている。一方で対前年比では「資金繰り DI」が△25.0 でマイナスとなるものの、「売上 DI」「採算 DI」とともに 20.0 でプラスとなっている。

今後の見通しに関する DI は△33.3 となっていることから、引き続き低調な状況が続くことが想定される。

なお、対象企業数は 6 社と少ないことに留意が必要。

■卸売業の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月		 △50.0		 △50.0		 0.0
	前年		 20.0		 20.0		 △25.0

■卸売業の今後の見通し

	天気	DI
今後の見通し		 △33.3

* DI=よくなると回答した企業の割合-悪くなると回答した企業の割合

■卸売業のコメント

- ・ 商工会への要望：融資を今後相談していくことがあるかもしれない。

■令和 5 年 8 月～10 月の調査結果（前回調査）との推移状況

- ・ 「今月の景況」（前年比）の各 DI を前回調査と比較すると、「売上 DI」（前回△40.0 →今回 20.0）は 60.0 ポイント増、「採算 DI」（前回△40.0 →今回 20.0）は 60.0 ポイント増、「資金繰り DI」（前回△40.0 →今回△25.0）は 15.0 ポイント増と改善の傾向が見られる。
- ・ 今後の見通しに関する DI を前回調査と比較すると、前回調査が△50.0 であったのに対し△33.3 で 16.7 ポイント増。今後の景況感は前年度より改善の傾向にあるが、まだ厳しい状況が続くことが想定される。

(4) 小売業

今後の見通しや「売上」は深刻であるが、前年比較でみる「採算」は良化。

また、前回調査時より「採算」「資金繰り」DIで改善傾向

今月の小売業の景況は、対前月比で「採算 DI」「資金繰り DI」が 0.0 であるが、「売上 DI」が△30.8 と悪化している。
対前年比では「売上 DI」が△53.8、「資金繰り DI」が 0.0 となるが、「採算 DI」は 7.7 でプラスとなっている。
今後の見通しに関する DI は△46.2 と、今後も厳しい状況が続くことが想定される。

■小売業の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月		 △30.8		 0.0		 0.0
	前年		 △53.8		 7.7		 0.0

■小売業の今後の見通し

	天気	DI
今後の見通し		 △46.2

* DI=よくなると回答した企業の割合-悪くなると回答した企業の割合

■小売業のコメント

- ・ 経営上の課題：市場の変化／生産者の高齢化
- ・ 商工会への要望：先日、稲沢のカレーフェス 7,000 人の集客があったニュースを見て、愛西でもイベントを開催してほしいです。

■令和 5 年 8 月～10 月の調査結果（前回調査）との推移状況

- ・ 「今月の景況」（前年比）の各 DI を前回調査と比較すると、「売上 DI」（前回△33.3→今回△53.8）は 20.5 ポイント減ではあるものの、「採算 DI」（前回△8.3→今回 7.7）は 16.0 ポイント増、「資金繰り DI」（前回△27.3→今回 0.0）は 27.3 ポイント増となっている。
- ・ 今後の見通しに関する DI を前回調査と比較すると、前回調査の△53.8 と厳しい結果だったのに対し△46.2 で 7.6 ポイント増となっており、やや改善したものの今後の景況感は引き続き低迷が想定される。

(5) 飲食業

全業種中最も厳しい状況にあり、見通しも深刻、回復に向けた対策が急務

今月の飲食業の景況は、対前月比で「売上 DI」が 0.0 と横ばいであるが、「採算 DI」が△60.0、「資金繰り DI」が△50.0 で、大幅なマイナスとなっている。

また、対前年比でも「売上 DI」が△37.5、「採算 DI」が△66.7、「資金繰り DI」が△57.1 と全ての項目においてマイナスとなっており、特に採算面の低迷が深刻。

今後の見通しに関する DI についても△60.0 と、調査対象業種中最も悪い結果となっており、今後も厳しい状況が続くことが想定される。

■飲食業の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月	 →	0.0	 ↓	△60.0	 ↓	△50.0
	前年	 ↓	△37.5	 ↓	△66.7	 ↓	△57.1

■飲食業の今後の見通し

	天気	DI
今後の見通し	 ↓	△60.0

* DI=よくなると回答した企業の割合-悪くなると回答した企業の割合

■飲食業のコメント

- ・ 記載事項なし

■令和 5 年 8 月～10 月の調査結果（前回調査）との推移状況

- ・ 「今月の景況」（前年比）の各 DI を前回調査と比較すると、「売上 DI」（前回 25.0→今回△37.5）は 62.5 ポイント減、「採算 DI」（前回△12.5→今回△66.7）は 54.2 ポイント減、「資金繰り DI」（前回△11.1→今回△57.1）は 46.0 ポイント減と、いずれの DI 値も大幅なマイナスとなっている。
- ・ 今後の見通しに関する DI を前回調査と比較すると、前回調査が△10.0 であったのに対し△60.0 で 50.0 ポイント減となっており、今後の景況感は一層厳しい状況が続くことが想定される。

(6) サービス業

前年比較で「採算」は良化となるも、他の指標は低調。

前回調査時と数値比較すると売上・採算・見通しはポイントが増加

今月のサービス業の景況は、対前月比で「売上 DI」が△23.5、「採算 DI」が△11.8、「資金繰り DI」が△16.7で、全ての項目においてマイナスとなっている。
対前年比では「売上 DI」が△5.9、「資金繰り DI」が△11.8でマイナスとなるが、「採算 DI」が 6.3 でプラスとなっている。

今後の見通しに関する DI は△16.7 となっていることから、引き続き低調な状況が続くことが想定される。

■ サービス業の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月		△23.5		△11.8		△16.7
	前年		△5.9		6.3		△11.8

■ サービス業の今後の見通し

	天気	DI
今後の見通し		△16.7

* DI=よくなると回答した企業の割合-悪くなると回答した企業の割合

■ サービス業のコメント

- ・ 記載事項なし

■ 令和 5 年 8 月～10 月の調査結果（前回調査）との推移状況

- ・ 「今月の景況」（前年比）の各 DI を前回調査と比較すると、「資金繰り DI」（前回△6.3→今回△11.8）は 5.5 ポイント減ではあるものの、「売上 DI」（前回△20.0→今回△5.9）は 14.1 ポイント増、「採算 DI」（前回△21.4→今回 6.3）は 27.7 ポイント増で改善の傾向が見られる。
- ・ 今後の見通しに関する DI を前回調査と比較すると、前回調査が△37.5 であったのに対し△16.7 で 20.8 ポイントの増加となっており、改善はみられるものの、今後の景況感は引き続き低迷が想定される。

(7) その他

いずれの指標も良化に転じており、見通しも好調

今月のその他の景況は、対前月比で「売上 DI」が 83.3、「採算 DI」が 50.0、「資金繰り DI」が 33.3 で、全ての項目においてプラスとなっている。

対前年比も「売上 DI」が 100.0、「採算 DI」が 83.3、「資金繰り DI」が 33.3 と全ての項目においてプラスとなっている。

今後の見通しに関する DI は 50.0 となっていることから、状況が好転していくことが想定される。

なお、対象企業数は 6 社と少ないことに留意が必要。

■その他の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月	 	83.3	 	50.0	 	33.3
	前年	 	100.0	 	83.3	 	33.3

■その他の今後の見通し

	天気	DI
今後の見通し	 	50.0

* DI=よくなると回答した企業の割合-悪くなると回答した企業の割合

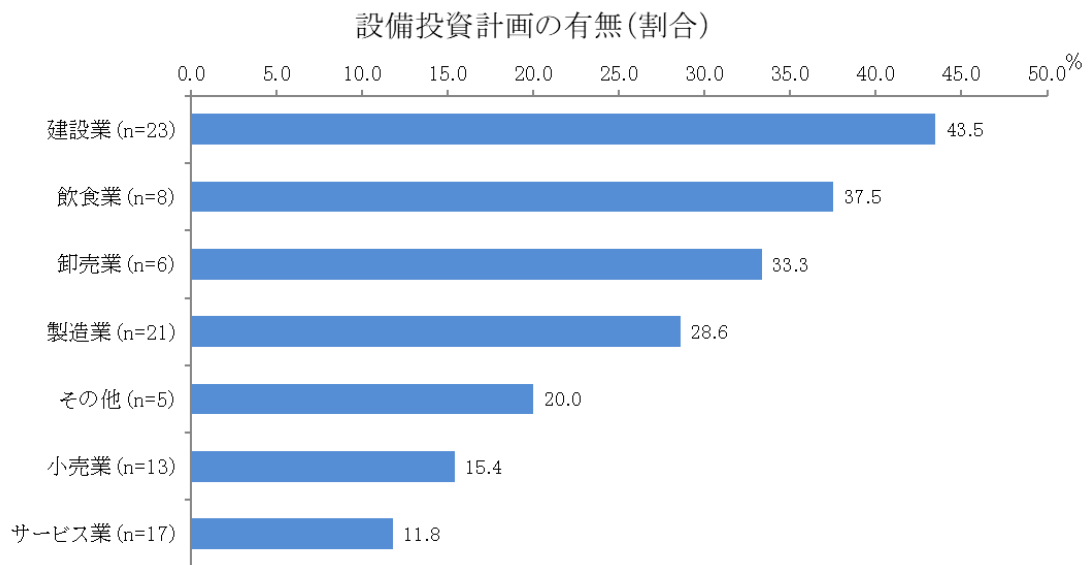
■その他のコメント

- ・ 商工会への要望：税理士や司法書士、社会保険労務士の先生方をご紹介いただけると嬉しいです。

■令和 5 年 8 月～10 月の調査結果（前回調査）との推移状況

- ・ 「今月の景況」（前年比）の各 DI を前回調査と比較すると、「売上 DI」（前回 0.0→今回 100.0）は 100.0 ポイント増、「採算 DI」（前回 0.0→今回 83.3）は 83.3 ポイント増、「資金繰り DI」（前回 0.0→今回 33.3）は 33.3 ポイント増と、いずれの DI 値も改善の傾向が見られる。
- ・ 今後の見通しに関する DI を前回調査と比較すると、前回調査が△20.0 であったのに対し 50.0 と 70.0 ポイント増で、今後の景況感は回復していくことが想定される。

3. 設備投資の計画



4. 経営上の問題

業種	順位	経営上の問題点	割合*
建設業	1	外注先・仕入先・協力企業の確保	54.2%
	2	原材料・仕入価格の高騰	45.8%
	3	人材確保・育成	41.7%
製造業	1	人材確保・育成	43.5%
	1	原材料・仕入価格の高騰	43.5%
	3	販路の確保・開拓	39.1%
卸売業*	1	原材料・仕入価格の高騰	83.3%
小売業	1	設備の老朽化	46.2%
	2	原材料・仕入価格の高騰	38.5%
	3	販路の確保・開拓	30.8%
	3	人材確保・育成	30.8%
	3	需要の停滞	30.8%
飲食業	1	原材料・仕入価格の高騰	100.0%
	2	設備の老朽化	60.0%
	3	人件費増加	30.0%
サービス業	1	原材料・仕入価格の高騰	55.6%
	2	設備の老朽化	38.9%
	3	人材確保・育成	33.3%
その他*	1	販路の確保・開拓	66.7%

* 割合=選択企業数/業種ごとの企業数

* 10件未満は件数の1番多い項目のみを掲載